

第八十二回  
貴族議會

# 朝鮮食糧管理特別會計法案特別委員會議事速記録第

一號

○朝鮮食糧管理特別會計法案

○朝鮮食糧管理特別會計法案

○朝鮮ニ於ケル米穀ノ生産ヲ確保スル爲ノ  
補給金及企業ノ整備ニ要スル經費ノ財源  
ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案  
○臺灣ニ於ケル米穀ノ生産ヲ確保スル爲ノ補  
給金ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル  
法律案

委員田名

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) ソレデハ只今ヨリ委員會ヲ閉會致シマス  
○政府委員(谷口恒二君) 本委員會ニ付託ニ相成リマシタ朝鮮食糧管理特別會計法案外二件ニ付キマシテ、其ノ提出ノ理由ヲ説明致シマス、先づ朝鮮食糧管理特別會計法案ニ付説明致シマス、現下ノ情勢ニ顧ミ、内外地ヲ通ズル食糧ノ自給態勢ヲ確立シ、以テ國民經濟ノ安定ヲ圖ル爲、今回朝鮮總督府ニ於テ食糧ヲ管理シ、其ノ買入、賣渡、交換、貯藏等ヲ行フコトト相成ッタノデアリマスルガ、右ニ關スル一切ノ歲入歲出ハ、之ヲ他ノ會計ト區分シテ經理スルノヲ適當ト認メマスル處、之ガ爲ニハ特別會計ヲ設置スルノ必要ガアルノデアリマス又内地ニ於ケル食糧管理特別會計ニ於キマシテ、朝鮮又ハ臺灣ヨリ移入致シマシタ米穀ニ付、朝鮮總督府特別會計又ハ臺灣總督府特別會計ニ於テ支出シマシタ、生產確保ノ爲ノ補給金ニ相當スル金額ニ付キマシテハ、食糧管理特別會計ニ於テ右金額ヲ限度トシテ、之ヲ一般會計ヨリ受入れ得ルコトト爲ス等ノ爲、食糧管理特別會計法中改正ヲ要スルモノガアルノデアリマス、以上ノ理由ニ依リマシテ本法律案ヲ提出致シマシタ次第ニアリマス、次ニ朝鮮ニ於ケル米穀ノ生産ヲ確保スル爲ノ生産ヲ確保スル爲ノ補給金及企業ノ整備ニ要スル經費ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ即應シテ、朝鮮ニ於ケル米穀ノ生産ヲ確  
關スル法律案ニ付説明致シマス、内外地ヲ通ズル主要食糧ノ現状ニ顧ミ、内地ノ施策ニ要スル經費ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案ニ付キ説明致シマス、内外地ヲ通ズル主要食糧ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル主要食糧ノ現状ニ顧ミ、臺灣ニ於テモ内地ノ施策ニ即應シ米穀ノ生産ヲ確保スル爲、之ニ必要ナル補給金ヲ交付スルコトト致シヨリノ受入金ヲ以テ充當シ得ル金額千百四十餘萬圓ノ内、臺灣米穀移出管理特別會計

○政府委員(田中武雄君) 朝鮮ニ於キマス  
食糧需給關係ノ概略ヲ申上ゲタイト思ヒマ  
セウカ……、若シナケレバ質問致シタイノ  
デスガ、ドチラカラデモ宜イデスガ、先ヅ  
朝鮮、臺灣ノ米ノ需給ノ狀況ヲ御説明願ヒ  
ノ作柄デゴザイマスレバ、大體米ノ豊凶ニ  
タイト思ヒマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 御質疑願ヒマ  
ス

○子爵八條隆正君 他ニ政府ノ方カラ、政  
府委員ヨリデモ御説明ナサルコトハナイデ  
セウカ……、若シナケレバ質問致シタイノ  
デスガ、ドチラカラデモ宜イデスガ、先ヅ  
朝鮮、臺灣ノ米ノ需給ノ狀況ヲ御説明願ヒ  
タイト思ヒマス

○政府委員(田中武雄君) 朝鮮ニ於キマス  
餘萬圓ヲ差引、不足スル二千三百四十餘萬  
圓ニ付キマシテハ、臺灣總督府特別會計ニ  
於ケル財政ノ現狀ニ顧ミ公債ニ依ルノ必要  
ガアリマスルノデ、總額二千三百五十萬圓  
ヲ限り起債ノ權能ヲ得ルノ必要ガアリマ  
ス、尙臺灣ヨリ輸出又ハ移出スル米穀ニ付  
キマシテハ、臺灣總督府特別會計ニ於テ支  
出セル右補給金ヲ加ヘタル價格ヲ以テ賣渡  
スコトト相成ツテ居リマスルノデ、右補給  
金相當額ハ之ヲ收入スル臺灣米穀移出管理  
特別會計ヨリ臺灣總督府特別會計ニ繰入ル  
ルコトヲ適當ト認メマシテ、昭和十六年法  
律第九十四號臺灣米穀移出管理特別會計法  
ノ特例ニ關スル法律第二條中所要ノ改正ヲ  
本法律案ノ附則ニ於テ行フコト致シテ居  
リマス、以上ノ理由ニ依リ本法律案ヲ提出  
致シマシタ次第デアリマス、以上三件ノ法  
律案ニ付キマシテ何卒御審議ノ上御賛成ヲ  
御願ヒ致シマス

依ツテ相違ハゴザイマスケレドモ、過去五箇年間ノ米ノ收穫ヲ一千二百八十七萬石ト抑ヘテ居ルノデアリマス、尙又麥其ノ他ノ雜穀ガ千七百七十八萬石ト抑ヘテ居ルノデアリマス、サウ致シマシテ消費ノ部面ニ於キマシテ、是モ種々ノ狀況カラ逐年消費ガ動モスレバ増嵩政シテ參リマス傾向ガゴザイマスケレドモ、之ヲ過去五箇年間ノ平均カラ致シマシテ、先ヅ米ニ於キマシテ一千六百五十萬石程度、麥其ノ他ノ雜穀ニ於キマシテ一千九百三十萬石程度ノ消費規正ヲ致シマシテ、食べテ參ルト致シマシテ、差引致シマスト、特別ナル凶作ニアリマセヌ限り、大體米ニ於キマシテ六百三十七萬石程度、雜穀ニ於キマシテ百五十萬石程度ノモノガト云フヤウナ勘定ニ相成ルノデアリマス、從ヒマシテ從來ノ需給ノ關係ハ内地ニ五百萬石程度ノ米ヲ平年作ニ於キマシテ出シマス爲ニハ、滿洲ノ方カラ雜穀ヲ百五十萬乃至二百萬石ハ入レテ貰ハナケレバナラナイ、此ノ雜穀ヲ大レマシテ麥、其ノ他ノ雜穀類ヲ多ク食ベルコトニ依ツテ米ヲ餘シテ内地ニ出スト云フヤウナ狀態ニ相成シテ、居ルノデアリマス、處ガ御承知ノ通り昨年ノ夏ハ未會有ノ旱害ヲ蒙リマシテ、其ノ上八月及九月ニ瓦リマシテ水害ガゴザイマシタノデアリマス、サウ云フヤウナ譯デ米ヲ初メト致シマシテ、食糧農產物ニ相當ノ著シイ減少ヲ見マシタノデアリマシテ、其ノ後ヲ受ケマシタ本米穀年度、十八米穀年度ハ朝鮮總督府施政以來最モ困難ナル事情ニ當面ヲ致シマシタノデアリマス、是ハ只今申上ガマスルガ、此ノ米ノ收穫ニ於キマシテ、昭和十四年ノ場合ノ方ガ幾分收穫ガ

低イ、詰リ昨年ノ方ガ幾分餘計穫レタト云フヤウニナツテ居リマスルケレドモ、種々ノ雜穀、其ノ他ノ畑作等ノ狀況、其ノ他諸般ノ食物ノ狀況ガ全ク此ノ昭和十四年ノ時トハ變ツテ居リマスルノデ、其ノ意味ニ於キマスレバ増嵩政シテ參リマス傾向ガゴザイマスケレドモ、之ヲ過去五箇年間ノ平均カラ致シマシテ、先ヅ米ニ於キマシテ一千六百五十萬石程度、麥其ノ他ノ雜穀ニ於キマシテ一千九百三十萬石程度ノ消費規正ヲ致シマシテ、差引致シマスト、昨日ハ一千五百六十八萬石デアリマシテ、平年作デアリマスル一千二百八十七萬石、是ハ昭和十年カラ先程過去五箇年間ノ平均ト申上ゲタノデアリマスガ、昭和十年カラ十五年迄ノ六年間ノ中デ、最モ特別ナル惡イ年ノ昭和十四年ト云フモノヲ除キマシタ五年間ノ平均デアリマス、ソレガ二千二百八十七萬石ニ較ベマシテ、七百十九萬石ノ減收ニ相成リマシタノデアリマス、ソレカラ麥類其ノ他ノ雜穀ニ於キマシテハ、其ノ實收高ハ一千三百餘萬石デアリマシテ、平年作デアリマスル所ノ千七百七十餘萬石、是ハ昭和十二年カラ十六年迄ノ五箇年ノ平均デゴザイマス、私先程一千七百七十餘萬石ト申シマシタノハ、千七百七十餘萬石ト訂正ヲ致シテ置キマス、千七百七十餘萬石ニ對シマシテ四百七十萬石ノ減收ニ相成シテ居ルノデアリマス、米及雜穀ヲ通ジマシテ約千二百萬石ノ減收ヲ來シタト云フ勘定ニ相成シテ居リマス、此ノ間ニ於キマシテ總督府ト致シマシテハ道内、朝鮮全體ノ供出ノ厲行ニ努メマスルト共ニ、極力此ノ消費ノ規正ヲ圖ツタノデゴザイマスケレドモ、矢張リ結局五百萬石程度、詰リ内地ノ方ニ殆ド一石モ貢獻ヲ致スコトガ出来マセヌデ、唯軍用米ダケハ出シタノデゴザ

御奉公スルコトガ出來マセヌデ、尙其ノ上ニ朝鮮外ヨリノ補給ニ仰ガナケレバナラヌト云フヤウナ狀態ニ相成リマシタ、ソレデマシテ食糧關係ト致シマシテハ、施政以來最モ困難ナル狀態ニ當面ヲ致シマシタ次第デアリマス、サウ致シマシテ、其ノ實收高ヲ申上ゲマスト、昨日ハ一千五百六十八萬石ト申上ゲマスル、斯ウ云フ目標ノ下ニ只今進ンデアリマシテ、平年作デアリマスル一千二百八十七萬石、是ハ昭和十年カラ先程過去五箇年間ノ平均ト申上ゲタノデアリマスガ、昭和十年カラ十五年迄ノ六年間ノ中デ、最モ特別ナル惡イ年ノ昭和十四年ト云フモノヲ除キマシタ五年間ノ平均デアリマス、ソレガ二千二百八十七萬石ニ較ベマシテ、七百十九萬石ノ減收ニ相成リマシタノデアリマス、ソレカラ麥類其ノ他ノ雜穀ニ於キマシテハ、其ノ實收高ハ一千三百餘萬石デアリマシテ、平年作デアリマスル所ノ千七百七十餘萬石、是ハ昭和十二年カラ十六年迄ノ五箇年ノ平均デゴザイマス、私先程一千七百七十餘萬石ト申シマシタノハ、千七百七十餘萬石ト訂正ヲ致シテ置キマス、千七百七十餘萬石ニ對シマシテ四百七十萬石ノ減收ニ相成シテ居ルノデアリマス、米及雜穀ヲ通ジマシテ約千二百萬石ノ減收ヲ來シタト云フ勘定ニ相成シテ居リマス、此ノ間ニ於キマシテ總督府ト致シマシテハ道内、朝鮮全體ノ供出ノ厲行ニ努メマスルト共ニ、極力此ノ消費ノ規正ヲ圖ツタノデゴザイマスケレドモ、矢張リ結局五百萬石程度、詰リ内地ノ方ニ殆ド一石モ貢獻ヲ致スコトガ出来マセヌデ、唯軍用米ダケハ出シタノデゴザ

只今全部參ツテ居リマセヌケレドモ、着キマシタ分ニ付テハ左様ニ致シテ居ルノデゴザイマス、ソコデ今年ノ狀態ハ大體左様ナ状況デゴザイマスルノデ、先程申上ゲマシタ鮮外カラ入レテ貰ヒマスル數量ガ、適當ノ時期ニ適當ノ量ガ計畫通り入ツテ參ルト云フコトニナリマスレバ、ドウヤラ今年ノ端境期モ突破シテ行ケルノデハアルマイカ、斯様ニ考ヘテ居リマスルヤウナ次第デアリマス、尙簡單ニチヨット一言附加ヘマシテ、增産ニ向ツテ行キタイ、斯様ナ施設デ只今進ンデ居リマス、概要ハ以上申上ゲタ通りアリマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 次ハ臺灣總督府ノ方ニ願ヒマス

○政府委員(齋藤樹君) 臺灣ニ於ケル米穀事情ヲ概略申上ゲマス、大觀的ニ見マシテ臺灣ノ米ノ生産量ハ大體八百萬石乃至九百五十萬石程度ヲ上下致シテ居リマス、島内ノ消費約六百萬石、從ツテ其ノ差ノ二百萬石乃至三百萬石程度ガ年々内地ニ移入セラレタ數量デゴザイマス、臺灣ニ米穀移出管理令ガ實施セラレマシタノハ昭和十四年ノ七月デゴザイマスルガ、此ノ制度ノ實施ニ伴ヒマシテ十五年以降十箇年計畫ヲ以テ米穀増產計畫ヲ實施シ來タノデアリマスルガ、其ノ後或ハ金肥ノ配給減若シクハ天候或ハ病蟲害等ノ影響ニ因リマシテ、計畫通りノ增產ノ實績ヲ擧ゲテ居リマセヌノデアリマシテ米ヲ合計三千四百六十三萬石ノ生産量ヲ確保致シタイ、斯様ナ目標デ進ンデ益、庶幾致サレマスルノデ、此ノ增產計畫ニ

對シマシテハ更ニ再検討ヲ加ヘマシテ、稍、實行性ノ確實ナル地ニ付イタ增産計畫ト云フ目標ノ下ニ、昭和十八年度カラ十箇年計畫ヲ以テ新タニ百五十萬石ノ増産ヲ圖ルヤウニ計畫ヲ樹テタノデアリマス、主トシテ土地改良ニ依ル增産デアリマスガ、ソレ等ノ實行ノ方法ト致シマシテ水田ノ擴張、改良、耕作法ノ改善指導、自給肥料ノ增産ト云フヤウナ各種ノ施設ニ目下銳意努力ヲ拂ツテ居リマス、特ニ第一年目ノ決戦段階ニ於キマシテハ農業生産ノ總力ヲ發揚セシメマスル爲ニ、或ハ各種農業團體ノ整理統合ニ依リマンシテ指導統制ノ一元化ヲ圖リ、若シクハ又婦人勞働力ヲ農地ニ動員致シマスル等ノ外ニ、更ニ進ンデ不急作物ノ減段、抑制、或ハ水田甘諸作ヲ出來ル限リ畑地ニ轉替セシムル、若シクハ極メテ僅カニ移入セラレマス金肥ノ均霑配給ト云フヤウナ各種ノ方法ヲ講ジマシテ、生産力ノ集約化ニ努メテ居ルヤウナ狀態デアリマス、昨今ノ肥料不足、労力不足ナドヲ免モ角モ熱ヲ以テ克服致シマシテ、官民一致増産ニ全力ヲ傾ケテ居ルノデアリマスルガ、昨年本年引續イテノ旱魃竝ニ昨年ハ特ニ收穫期前後ニ於ケル稀有ノ暴風雨等ノ災厄ニ見舞ハレマシタ結果、必ズシモ所期ノ生産ヲ擧ゲテ居ルト申上ゲルコトノ出來ナイコトヲ誠ニ遺憾シテ、是ハ一昨年ノ同期ニ比較致シマシテ約十五萬石ノ增收トナツテ居リマス、米ノ實收高ガ四百三十五萬石デゴザイマシテ、是ハ一昨年ノ同期ニ比較致シマシテ約十五萬石ノ増收トナツテ居リマス、之ニ今年第一期ノ作米ヲ加ヘマシテ本米穀年度ノ供給量ト相成ル譯デアリマスルガ、本年第一期作ニ付キマシテハ未ダ正確ナル

豫想ハ立ツテ居リマセヌ、假ニ之ヲ平年作程度ノ收穫アリト推定致シマシテ計畫ヲ樹テ二萬石、之ニ持越米五十二萬石ヲ加算致シマシテ、供給總計ハ九百十六萬石ト相成ルノデアリマス、之ニ對シマシテ需要ノ方面ハ極力抑制ヲ致シテ居リマスルガ、特ニ加工用ノ部面ニ於キマシテ前年ノ五割減、酒造用ニ於キマシテ前年ノ二割減ヲ實行政シ充テタイト專念致シテ居ルノデアリマス、或ハ種穀、軍用繰越米、來年度ニ繰越シマスル所要量等ヲ總計致シマシテ——石ト相成リマスルノデ、此ノ差ノ輸出移出可能數量ガ二百十餘萬石程度ト相成ルノデアリマス、尙併シナガラ本米穀年度ニ於ケル内地ノ食糧事情ニ鑑ミマシテ、本年ノ第二期作米ノ作柄ガ順調ナル場合ニ於キマシテハ第二期作米ノ中ノ早揚米カラ十五萬石程度ノ早期移出ヲ致シマシテ、合セテ——石程度ノ内地移出ヲ行ヒタイト云フ計畫ヲ以テ進ンデ參ツテ居ラタノデアリマス、併シナガラ本年ノ第一期作米ニ付キマシテハ、昨年以上ノ旱魃ガ南部地方ヲ襲ヒマシテ植付不能ニ陥リマンタル面積ハ一萬七千甲步ニ及ンデ居リマス、又植付後ノ降雨不足ノ爲ニ一割以上ノ旱害ヲ受ケタト認メラレマスルモノモ、凡ソ四萬五千甲歩ニ達シテ居ルノデアリマス、是等ノ結果ト致シマシテ當初ノ豫定ニ比較致シマスルト、相當ノ減收ハ免レ居リマス、又植付後ノ降雨不足ノ爲ニ一割以上ノ旱害ヲ受ケタト認メラレマスルモノモ、凡ソ四萬五千甲歩ニ付テハ、其ノ當時ノ御利入レガ濟ミマシテ、其ノ結果ヲ報告モ聽イタノデアリマスルガ、立毛ノ狀態ニ於ケル難イ狀態ニアルノデアリマス、併シナガラ丁度私ノ出發前ニ高雄州下ノ一期作米ハ全額刈入レガ濟ミマシテ、其ノ結果ヲ報告モ聽イタノデアリマスルガ、立毛ノ狀態ニ於ケル難イ狀態ニアルノデアリマス、併シナガラ

度ノ收穫アリト推定致シマシテ計畫ヲ樹テ二萬石、之ニ持越米五十二萬石ヲ加算致シマシテ、供給總計ハ九百十六萬石ト相成ルノデアリマス、之ニ對シマシテ需要ノ方面ハ極力抑制ヲ致シテ居リマスルガ、特ニ加工用ノ部面ニ於キマシテ前年ノ五割減、酒造用ニ於キマシテ前年ノ二割減ヲ實行政シ充テタイト專念致シテ居ルノデアリマス、或ハ種穀、軍用繰越米、來年度ニ繰越シマスル所要量等ヲ總計致シマシテ——石ト相成リマスルノデ、此ノ差ノ輸出移出可能數量ガ二百十餘萬石程度ト相成ルノデアリマス、尙併シナガラ本米穀年度ニ於ケル内地ノ食糧事情ニ鑑ミマシテ、本年ノ第二期作米ノ作柄ガ順調ナル場合ニ於キマシテハ第二期作米ノ中ノ早揚米カラ十五萬石程度ノ早期移出ヲ致シマシテ、合セテ——石程度ノ内地移出ヲ行ヒタイト云フ計畫ヲ以テ進ンデ參ツテ居ラタノデアリマス、併シナガラ本年ノ第一期作米ニ付キマシテハ、昨年以上ノ旱魃ガ南部地方ヲ襲ヒマシテ植付不能ニ陥リマンタル面積ハ一萬七千甲步ニ及ンデ居リマス、又植付後ノ降雨不足ノ爲ニ一割以上ノ旱害ヲ受ケタト認メラレマスルモノモ、凡ソ四萬五千甲歩ニ付テハ、其ノ當時ノ御利入レガ濟ミマシテ、其ノ結果ヲ報告モ聽イタノデアリマスルガ、立毛ノ狀態ニ於ケル難イ狀態ニアルノデアリマス、併シナガラ

度ノ收穫アリト推定致シマシテ計畫ヲ樹テ二萬石、之ニ持越米五十二萬石ヲ加算致シマシテ、供給總計ハ九百十六萬石ト相成ルノデアリマス、之ニ對シマシテ需要ノ方面ハ極力抑制ヲ致シテ居リマスルガ、特ニ加工用ノ部面ニ於キマシテ前年ノ五割減、酒造用ニ於キマシテ前年ノ二割減ヲ實行政シ充テタイト專念致シテ居ルノデアリマス、或ハ種穀、軍用繰越米、來年度ニ繰越シマスル所要量等ヲ總計致シマシテ——石ト相成リマスルノデ、此ノ差ノ輸出移出可能數量ガ二百十餘萬石程度ト相成ルノデアリマス、尙併シナガラ本米穀年度ニ於ケル内地ノ食糧事情ニ鑑ミマシテ、本年ノ第二期作米ノ作柄ガ順調ナル場合ニ於キマシテハ第二期作米ノ中ノ早揚米カラ十五萬石程度ノ早期移出ヲ致シマシテ、合セテ——石程度ノ内地移出ヲ行ヒタイト云フ計畫ヲ以テ進ンデ參ツテ居ラタノデアリマス、併シナガラ本年ノ第一期作米ニ付キマシテハ、昨年以上ノ旱魃ガ南部地方ヲ襲ヒマシテ植付不能ニ陥リマンタル面積ハ一萬七千甲步ニ及ンデ居リマス、又植付後ノ降雨不足ノ爲ニ一割以上ノ旱害ヲ受ケタト認メラレマスルモノモ、凡ソ四萬五千甲歩ニ付テハ、其ノ當時ノ御利入レガ濟ミマシテ、其ノ結果ヲ報告モ聽イタノデアリマスルガ、立毛ノ狀態ニ於ケル難イ狀態ニアルノデアリマス、併シナガラ

度ノ收穫アリト推定致シマシテ計畫ヲ樹テ二萬石、之ニ持越米五十二萬石ヲ加算致シマシテ、供給總計ハ九百十六萬石ト相成ルノデアリマス、之ニ對シマシテ需要ノ方面ハ極力抑制ヲ致シテ居リマスルガ、特ニ加工用ノ部面ニ於キマシテ前年ノ五割減、酒造用ニ於キマシテ前年ノ二割減ヲ實行政シ充テタイト專念致シテ居ルノデアリマス、或ハ種穀、軍用繰越米、來年度ニ繰越シマスル所要量等ヲ總計致シマシテ——石ト相成リマスルノデ、此ノ差ノ輸出移出可能數量ガ二百十餘萬石程度ト相成ルノデアリマス、尙併シナガラ本米穀年度ニ於ケル内地ノ食糧事情ニ鑑ミマシテ、本年ノ第二期作米ノ作柄ガ順調ナル場合ニ於キマシテハ第二期作米ノ中ノ早揚米カラ十五萬石程度ノ早期移出ヲ致シマシテ、合セテ——石程度ノ内地移出ヲ行ヒタイト云フ計畫ヲ以テ進ンデ參ツテ居ラタノデアリマス、併シナガラ本年ノ第一期作米ニ付キマシテハ、昨年以上ノ旱魃ガ南部地方ヲ襲ヒマシテ植付不能ニ陥リマンタル面積ハ一萬七千甲步ニ及ンデ居リマス、又植付後ノ降雨不足ノ爲ニ一割以上ノ旱害ヲ受ケタト認メラレマスルモノモ、凡ソ四萬五千甲歩ニ付テハ、其ノ當時ノ御利入レガ濟ミマシテ、其ノ結果ヲ報告モ聽イタノデアリマスルガ、立毛ノ狀態ニ於ケル難イ狀態ニアルノデアリマス、併シナガラ

度ノ收穫アリト推定致シマシテ計畫ヲ樹テ二萬石、之ニ持越米五十二萬石ヲ加算致シマシテ、供給總計ハ九百十六萬石ト相成ルノデアリマス、之ニ對シマシテ需要ノ方面ハ極力抑制ヲ致シテ居リマスルガ、特ニ加工用ノ部面ニ於キマシテ前年ノ五割減、酒造用ニ於キマシテ前年ノ二割減ヲ實行政シ充テタイト專念致シテ居ルノデアリマス、或ハ種穀、軍用繰越米、來年度ニ繰越シマスル所要量等ヲ總計致シマシテ——石ト相成リマスルノデ、此ノ差ノ輸出移出可能數量ガ二百十餘萬石程度ト相成ルノデアリマス、尙併シナガラ本米穀年度ニ於ケル内地ノ食糧事情ニ鑑ミマシテ、本年ノ第二期作米ノ作柄ガ順調ナル場合ニ於キマシテハ第二期作米ノ中ノ早揚米カラ十五萬石程度ノ早期移出ヲ致シマシテ、合セテ——石程度ノ内地移出ヲ行ヒタイト云フ計畫ヲ以テ進ンデ參ツテ居ラタノデアリマス、併シナガラ本年ノ第一期作米ニ付キマシテハ、昨年以上ノ旱魃ガ南部地方ヲ襲ヒマシテ植付不能ニ陥リマンタル面積ハ一萬七千甲步ニ及ンデ居リマス、又植付後ノ降雨不足ノ爲ニ一割以上ノ旱害ヲ受ケタト認メラレマスルモノモ、凡ソ四萬五千甲歩ニ付テハ、其ノ當時ノ御利入レガ濟ミマシテ、其ノ結果ヲ報告モ聽イタノデアリマスルガ、立毛ノ狀態ニ於ケル難イ狀態ニアルノデアリマス、併シナガラ

其ノ總督府ノヤリ方ニ對シマシテ漸次理解ヲ深メテ參ツテ居リマスルバカリデナシニ、大東亞戰爭開始以來、米ノ增産ガ國家ノ要請スル相當強イ御奉公デアルト云フ點ヲ、十分ニ只今デハ認識シテ居ルヤウニ存ジテ居リマス、或ハ數年前ニ於キマシテ、只今御心配ニナリマシタヤウナ氣分若シクハ事實ガ、農村ニ現レタコトガ事實デアッタ致シマシテモ、今日ニ於テハ左様ナ御心配ハ先ヅ以テナイト申上ゲテ差支ナイト存ジマス

○子爵八條隆正君 管理局長官御出席デ、内地ノ食糧事情ヲ御説明戴クヤウナコトヲチヨット承リマシタガ、若シモサウ云フコトナラバ、此ノ際御願ヒスレバ、結構ダト思ヒマス

○政府委員(湯河元威君) 内地ノ端境期迄ノ食糧情勢ヲ概略御説明申上ゲタイト存ジマス、昭和十八米穀年度ノ需給事情ニ付キマシテハ、昨年ノ十一月、此ノ年度當初ニ於キマシテ色々勘案致シマシタノデゴザイマス、昨年ハ御承知ノヤウニ内地ノ米作収穫ガゼイマス、併シシナガラ遺憾ナコトニハ誠ニ豐穰デゴザイマシテ、第二回ノ豫想收穫高ニ於キマシテ六千七百三十六萬石ノ收穫ガゼイマス、併シシナガラ遺憾ナコトニハ、朝鮮ガ旱魃ノ爲ニ不作デゴザイマシテ、朝鮮米ノ移入ヲ内地トシテ期待スルコトガムゾカシクナリマシタノデゴザイマス、又前年度ヨリ持越シマスル古米ガ、相當窮屈ニナツテ居リマシタヤウナ事情カラ致シマシテ、昨年ノ秋ノ豊作モ、之ヲ内外地ヲ通ジテ、新古米ヲ通ジテ考ヘテ見マスルト、サウ平年ニ較ベテ宜シト云フ譯ニハ參ラナカツタノデゴザイマス、ソレデ矢張リ平年通り數百萬石ノ不足ガ豫想致サレマシタ

モノデゴザイマスルカラ、如何ニシテ此ノ需給ノ不均衡ヲ是正スペキカト云フコトニ付心配ニナリマシタヤウナ氣分若シクハ事實ガ、農村ニ現レタコトガ事實デアッタ致シマシテモ、今日ニ於テハ左様ナ御心配ハ先ヅ以テナイト申上ゲテ差支ナイト存ジマス

○子爵八條隆正君 管理局長官御出席デ、内地ノ食糧事情ヲ御説明戴クヤウナコトヲチヨット承リマシタガ、若シモサウ云フコトナラバ、此ノ際御願ヒスレバ、結構ダト思ヒマス

○政府委員(湯河元威君) 内地ノ端境期迄ノ食糧情勢ヲ概略御説明申上ゲタイト存ジマス、昭和十八米穀年度ノ需給事情ニ付キマシテハ、昨年ノ十一月、此ノ年度當初ニ於キマシテ色々勘案致シマシタノデゴザイマス、昨年ハ御承知ノヤウニ内地ノ米作収穫ガゼイマス、併シシナガラ遺憾ナコトニハ誠ニ豐穰デゴザイマシテ、第二回ノ豫想收穫高ニ於キマシテ六千七百三十六萬石ノ收穫ガゼイマス、併シシナガラ遺憾ナコトニハ、朝鮮ガ旱魃ノ爲ニ不作デゴザイマシテ、朝鮮米ノ移入ヲ内地トシテ期待スルコトガムゾカシクナリマシタノデゴザイマス、又前年度ヨリ持越シマスル古米ガ、相當窮屈ニナツテ居リマシタヤウナ事情カラ致シマシテ、昨年ノ秋ノ豊作モ、之ヲ内外地ヲ通ジテ、新古米ヲ通ジテ考ヘテ見マスルト、サウ平年ニ較ベテ宜シト云フ譯ニハ參ラナカツタノデゴザイマス、ソレデ矢張リ平年通り數百萬石ノ不足ガ豫想致サレマシタ

ニ當リマシテ、我々トシテハ下半期ノ初頭ノデゴザイマス、ソレデ下半期ノ初頭ニ立チマシテ、此ノ端境期迄ラドウヤリ繰リシテ參ルカト云フコトヲ色々検討致シテ參リマシタノデスガ、只今迄申シマシタヤウニ、供出方必ズシモ目標通リニ參ラヌ、片方ニ其ノ供出農家ニ配給ノ必要ガ豫定以上ニ出来ルト云フ風ナコトカラ致シマシテ、彼此——石位ノ狂ヒガ出ヤシナカト心配致サレマシタ、ソレカラ一方麥ノ關係デゴザイマスガ、最近ノ天候カラ御想像ノ通りニ、少シ麥ノ作柄ガ惡ウゴザイマス、從ヒマシテ當初豫定致シマシタヤウニ、米ニ代替シテ配給スル麥ト云フモノノ確保ガ出來ルカラウカト云フ點ニ付テノ懸念ガアルノデゴザイマス、ソレデ當初申シマシタ麥ノ數字ノ中——石ハ、此ノ新麥ニ期待シテ居ッタノデアリマスルガ、此ノ新麥——石ノ約半分ヘ駄目ニナルノデアリマス、ト云フ風ニ思ハレマシテ、茲ニ——石ノ缺陷ガ、狂ヒガ來ルヤウデゴザイマス、ソレカラ尙外米、外地米ノ輸入、移入ガ最近ノ船腹事情、ソレカラ又輸送事情等カラ致シマシテ、發着ガ遲延スル見込ナキニシモアラズ、彼此致シマシテ、茲ニ合計シテ——石ノ不足ガ豫想サレルノデゴザイマス、サウ云フ事態デゴザイマスノデ、下半期ノ初頭ニ當リマシテ、當初ノ計畫ニ狂ヒガ參リマシテ、我々マスルカラ、出來ルダケ國內ニ於テ一ツ埋合セヲ付ケテ參リタイト考ヘテ居リマス、其ノ結果ト致シマシテ、先程御説明致シマ

シタ四千五百萬石ノ買入レハ今後ト雖モ、是  
非一つ出來ルダケ之ヲ供出シテ貰フヤウナ  
求メマスルシ、又還元配給ト云フヤウナ  
成ルベク赤字ヲ小サクシテ參リタイトヘ、  
トノ要請ニ對シマシテモ、出來ルダケ農家  
掛ケテ居リマス、サリナガラ相當茲ニ不足  
モ豫想致サレマスルカラ、我々ト致シマシテ、  
テハ先ヅ、今此ノ議會ニ御要求シテ居リマ  
ス所ノ、食糧應急增產對策ヲ一つ是非トモ  
完遂致シマシテ、茲ニ相當ノ穴埋メラシ  
タイト考ヘテ居ルノデアリマス、此ノ會  
糧增產對策ニ依リマシテハ、米八萬石、  
粟、蕎麥、大豆等ノ雜穀五十五萬石ヲ少  
クトモ確保シタイト云フ風ニ考ヘテ居ル  
ノデアリマス、是等ニ依リマシテ相當ノ不  
足ノ補填ヲ致シタイト考ヘテ居リマスルガ  
尙此ノ秋穫レマスル新米、之ヲ相當早食ヒシテ  
スル計畫ヲ立テタラ如何カト存ジテ居リマ  
ス、年々新米ハ百數十萬石モ早食ヒシテ民  
ルノデアリマスガ、操作ノ都合ニ依リマシ  
テハ更ニ是以上ノ早食ヒモ出來ルノデヤ  
イカト考ヘラレマスシ、又馬鈴薯或ハ甘諸  
其ノ他玉蜀黍等ノ雜穀類ヲ極力政府デ管轄  
致シマシテ、之ヲ以チマシテ米ノ配給ヲ助  
ケ、所謂綜合配給ヲシテ參ル、乃至ハ夏穀  
ニナリマスト、普通ノ年柄ニ於キマシテモ  
致シマシテ、之ヲ以チマシテ米ノ配給ヲ助  
ケ、所謂綜合配給ヲシテ參ル、乃至ハ夏穀  
ノナイ程度ニ於キマシテ節約ヲ努メテ、サ  
ウシテ穴埋メラシテ參ルト云フコトヲ色  
ト検討シタノデアリマス、併シ何ト致シマ  
シテモ大キナ不足ガゴザイマスノデ、之ヨ  
外米ノ新規追加ニ求メル外ナイト云フ風ニ  
考ヘマシテ、過般來各方面ト緊密ナ聯絡ヨ

マシテ、外米ヲ新規ニ——石ノ輸入計畫ヲ立テタノデゴザイマス、マアサウ云フ風ナリマシテ、此ノ下半期初頭ニ豫想サレマシタ此ノ不足ヲ何トカ補ツテ行キタイ、斯ウ云フ風ニ計畫ヲ立てタノデゴザイマス、我ト致シマシテハ實ハ此ノ計畫ハ、モウ手放シニ大丈夫ダトハ決シテ申シマセヌノデアリマスガ、併シ此ノ計畫ガ實施サレマスルナラバ、少クトモ此ノ端境期迄ニ於テハ世間ノ方ニ御心配戴クヤウナ事態ハ、萬ナルベキコトヲ期待シテ居ル次第デゴザイマス、サリナガラ外米ノ輸入等ニ付キマシテハ、ドウ云フ事態ガ起ラヌトモ限ラナイノデ、我々トシテハ決シテ警戒ヲ緩メルコトハ出來マセス、増産等ニ付キマシテモ十分熱意ヲ昂揚致シマシテ此ノ所期ノ效果ヲ挙げテ參リタイ、消費者ノ方面ニ於カレマシテモ之ニ十分御協力ヲ戴キタイト云フ氣持デ、目下各方面ト聯絡ヲ取り、一般ノ世間ニ對シテモ此ノ趣旨ノ徹底ヲ圖ッテ居ルヤウナ次第デゴザイマス

○子爵西尾忠房君 朝鮮ノ米ニ付テ少シ伺糧事情ニ非常ニ貢獻シテ居ルコトハ、多年ノ當局ノ御努力、大イニ多ト致スノデゴザイマスガ、昨年ハ希有ノ災害ニ依リマシテ、非常ナ不作ヲ生ジテ、從ツテ内地ノ計畫ニモ相當ノ支障ヲ來タシタノデアリマス、從ツテ今回米穀ノ生産確保ノ爲ニ、補給金竝ニ米穀付テハ無論結構デアリマスガ、其ノ以外ニ操作、新米ノ消費、或ハ外米ノ輸入等ニ依リマシテ、此ノ下半期初頭ニ豫想サレマシタ此ノ不足ヲ何トカ補ツテ行キタイ、斯ウ云フ風ニ計畫ヲ立てタノデゴザイマス、我ト致シマシテハ實ハ此ノ計畫ハ、モウ手放シニ大丈夫ダトハ決シテ申シマセヌノデアリマスガ、併シ此ノ計畫ガ實施サレマスルナラバ、少クトモ此ノ端境期迄ニ於テハ世間ノ方ニ御心配戴クヤウナ事態ハ、萬ナルベキコトヲ期待シテ居ル次第デゴザイマス、サリナガラ外米ノ輸入等ニ付キマシテハ、ドウ云フ事態ガ起ラヌトモ限ラナイノデ、我々トシテハ決シテ警戒ヲ緩メルコトハ出來マセス、増産等ニ付キマシテモ十分熱意ヲ昂揚致シマシテ此ノ所期ノ效果ヲ挙げテ參リタイ、消費者ノ方面ニ於カレマシテモ之ニ十分御協力ヲ戴キタイト云フ氣持デ、目下各方面ト聯絡ヲ取り、一般ノ世間ニ對シテモ此ノ趣旨ノ徹底ヲ圖ッテ居ルヤウナ次第デゴザイマス

於キマシテ、生産資材所謂生産ノ隘路ト申シマスカ、サウ云フ方面ニ於テハ相當ニ朝鮮モ窮屈ナ事情ニアルノデハナイカ、是ハ内地ノ事情カラ推シテ大體想像出來ルノデアリマシテ、昨日新聞ニ依リマスト、衆議院ノ豫算委員長カラシテ企畫院總裁ニ對スル質問ノ答辯ヲ今朝拜見致シマシタガ、其ノ一節ニ「政府ハ決戦下米麥等主要食糧ノ需給確保上之ガ生産ニ要スル肥料及農機具ノ資材ニ付テハ、戰時行政職權特例ニ定メラレタル五大重要產業所要資材ト同様ニ取扱フ様特段ノ方途ヲ講ジ、主要食糧ノ生産ニ萬遺憾ナキヲ期ス」ト、デ朝鮮ニ於キマシテノ只今開發營團ノコトニ付テ御示シガゴザイマンシタガ、ソレ等ノ生産資材、或ハ肥料ノ需給、或ハ肥料ハ是ハ當然足リナナイデアリマセウカラシテ、從ツテ自給肥料ノ増産ニ歸スルデアリマセウガ、是モ所謂勞力如何ニ依ルノデアリマシテ、是等ノ資料労力サウ云フ方面ニ付テ當局ノ御方針ヲ此ノ際御漏シヲ頼ヒタイト存ジマス

フヤウナ方途ノ下ニ諸般ノ計畫ヲ進メテ居  
ルヤウナ譯デアリマス、ソレガ爲ニ、今年  
ハ特ニナカヽムツカシイ問題デゴザイマ  
スルカラ、效果ノ程ハ十分ニ只今カラ豫  
言ハ致シ兼ネルノニアリマスケレドモ、  
農民ニ希望ト明朗性ヲ持タセマス爲ニ、政  
府ガ一旦割當ヲ或程度決メテ、或程度ノコ  
トヲ豫告ヲ致シマシテ、ソレ以上ハモウ何  
回モ何回モニ亘ツテ捲キ上ゲルト云フヤウ  
ナ氣持ヲ起ササナイヤウニシテ行カウト  
云フヤウナ方策モ種々考ヘマシテ、只今  
實行ヲ致シテ居リマスヤウナ次第デアリマ  
ス、ソコデソレハ精神的ノ方面ハサウ云フ  
ヤウニ致シマシテ、出來ル限リヤッテ居リマ  
スガ、何ヲ申シマシテモ、矢張リ此ノ物質的  
ナ條件ト云フモノモ程度問題デアリマシ  
テ、必ズシモ全部ヲ、又大部分ノモノヲ精  
神上補ツテ行クト云フ譯ニモ參リマセヌノ  
デ、確カニ資材ノ不足ト云フヤウナコトガ  
影響ヲ致シマス、増産計畫ニモ影響ヲ及ス  
コトハ是ハ否ミ得ナイ實情ナンデアリマス  
ガ、併シ是ハ此ノ土地改良ノ事業ヲ實行ス  
ル上ニ於キマシテ、最モ障碍ヲ蒙ル面ナン  
デアリマスルガ、之ニ付キマシテハ出來ル  
限り朝鮮ト致シマシテハ、配當サレテ居リ  
マスル物動ノ範圍内ニ於キマシテ、詰リ朝  
鮮ガ朝鮮ダケノ考デ自由ニ出來マスルモノ  
ノ中カラ、出來ル限り戰時下ノ食糧增産ノ  
爲ニ、成ルベグマア事情ノ許ス限り廻シテ  
行クト云フヤウナ方法ハ採ツテ居ルノデア  
リマス、併シ十分デハゴザイマセヌノデ、  
堰堤ノ如キモ事情ノ許シマスル限り、土堰  
堤デヤツテ行クト云フヤウナ方策モ講ジツ  
ツアルノデアリマス、殊ニ況ヤ比較的小サ  
イ工事ニ於キマシテハ、成ルベク鐵材ナリ、

セメントト云フヤウナ物ヲ、極力節約ラシテヤツテ行クト云フヤウナ方法ヲ講ジマシテ、出來得ル限リ所期ノ目的ヲ達シタイ、斯様ニ風ニ努力ヲ致シテ居ルノデアリマス、勞力ノ問題ニ付キマシテハ、是ハ時期ニ依リマシテ、朝鮮ニ於キマシテ、確カニ勞力ガ矢張リ不足ヲ致シテ居リマス、併シナガラ何ト申シマシテモ、相當ノ労力給源ト云モノヲマダ一持ツテ居リマスノデ、之ヲ合理的ニ配分配置ヲ致シマシテ、サウシテ鮮内ノ要求ニ適正ニ之ヲ配置ラシテ行ク、同時ニ又相當陸海軍軍需方面ノ希望モアリマスルノデ、其ノ方面ニモ應ジ、更ニ又内地ノ方カラ、近年ハ又非常ニ猛烈ナル希望ガゴザイマシテ、ナカ一此ノ内地ノ御要求ニモ言ハレル儘ニハ受ケ切レナイヤウナ程、實ハ多數ノ要求ヲ受ケテ居リマスルガ、是等ノ點ニ付キマシテモ、内地當局ト御相談ヲ致シマシテ、朝鮮トシテ出來ル限リ御出シヲシテ居ルノデアリマスガ、サウ云フ譯デアリマシテ、寧ロ労力ハ供給ヲ致シテ居ルノデアリマスルガ、時期的ニハ矢張リ非常ニ困ルヤウナコトガゴザイマス、ソレデアリマスルノデ、學徒ノ勤勞奉公ト云フヤウナコトモ盛ニヤリマシテ、サウシテ一時のノ勞務ノ調整ト云フモノヲ圖リツ、アルヤウナ譯デアリマス

ト想像サレルノデアリマス、サウシマスト、  
サウ云フ方面ニ付テハ何等カ餘程思ヒ切ッタ  
今カラ農業經營ノ上ニ於テ御施策ガナケレ  
バナラヌデヤナイカト私共考ヘルノデアリ  
マス、ソレカラ此ノ增産ニ付テ農業開發營  
團、是ハドウ云フヤウナ、開墾デアリマス  
カ、其ノ點ヲ同ヒタイト思フノデアリマス、  
内地デハ不耕作地ガ相當ニ出來マシタシ、  
ソレカラ詰リ熟田ガ不耕作地ニナツタリ、或  
ハ僅カナ土地改良ニ依ッテ増産ガ出來ルモ  
ノガ、資材、労力ノ足リナイ爲ニ出來ナイ  
ト云フヤウナ狀況デアリマスルカラシテ、手  
取早ク此ノ增産ヲ確保スル場合ニハ未開地ノ  
開墾ナドモ此ノ際止ヌテ、熟田ノ整理改良  
ト云フヤウナ方面ニ全力ヲ注グコトガ必要  
デナイカト云フヤウニモ考ヘラレマスガ、  
無論先刻御話ノ通りニ十五箇年ニ千百萬石  
以上ノ增産ヲスルノニハ、是ハ土地ガ新タ  
ニ開墾サレナケレバナラスト思ヒマスガ、  
手取早ク今日ノ場合ニ於キマシテハ熟田ノ  
僅カナ改良ト申シマスカ、ソレデ地力ノ增  
強ヲ圖ルト云フコトガ最モ適切ナ施策ノヤ  
ウニ思フノデアリマスガ、サウ云フ方面ニ  
付キマシテ何カ御説明ガアレバ承リタイト  
思ヒマス

常ナ增産ノ根本ノ問題ト致シマシテハ、相當恒久的ナ所ヲ狙ッテヤラナケレバナリ  
マセヌノデアリマスルガ、各般ノ事情カラ  
考ヘマシテ、矢張リ手取早ク少シデモ増産  
ルベク餘リ手數ノ掛カリマシテ效果ガ相當  
先ニナリマスヤウナ所ハ、成ルベク後廻シ  
ニ致シマシテ、效率ノ早ク舉ゲラレルヤウ  
ナ地域ヲ土地改良ニ於キマシテモ選ンデ居  
リマスヤウナ次第デアリマス、尙其ノ前ニ  
御尋ニナリマシタ勞力問題ニ付キマシテ  
モ、仰セノ如ク私共ノ方ト致シマシテモ考  
ヘマシテ、是ハ結局朝鮮ニ於キマシテモ、  
適正規模ニ依リマスル所ノ農家ノ整理ト云  
フコトヲヤツテ參リ、或ハ又中小工業ノ整  
理ト云フヤウナモノモ同時ニ考ヘ、又滿洲  
ニ對シマスル所ノ送出ノ點ト云フヤウナコ  
トモ更ニ再検討致シマシテ、サウシテ朝鮮  
ニ於ケル國土計畫的ナ根本ノ施策ヲ策定ス  
ル必要ガアルト、斯様ニ考ヘマシテ、行政  
機構ニ於キマシテモ新タニサウ云フ企畫ヲ  
致シマスル企畫室ト云フモノヲ設ケマシ  
テ、稍恒久的ナ部面ニ屬シマスル問題ヲ企  
畫ヲ致サセテ居リマシテ、勞力問題ノ如キ  
モ只今其處デ相當實ハヤリツ、アルヤウナ  
實情デアリマス

別段御尋ネスル必要モナイ問題ガ多カラウト思ヒマス、御手許ニ御用意ガアリマセヌデセウカドウカ、ソレヲチヨット伺ヒタイ。

○政府委員(水田直昌君) 主要食糧ノ増産計畫其ノ他二、三手許ニ資料トシテ拵ヘテ居ルモノモアリマスガ、御要求ノ中デ持合セテ居ラヌモノモゴザイマス、御尋ニ依リマシテ御説明ハ大抵ハサウ長イ時間ヲ取ラナクテモ出來ハシナイカト思ヒマス、オ晝迄ニ書キマンシテ差上ゲル時間ノ餘裕ノアル程度ノモノハ差出シタイト思ヒマス。

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 政府委員ニ申上げマスガ、出來ルダケ資料ヲ出シテ戴キマス

○政府委員(水田直昌君) 手許ニアルダケハ差出シマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) ソレデハ午前ハ是デ休憩ニ入りマス、午後ハ二時半カラ再開致シマス

午後零時十九分休憩

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) ソレデハ午前ハ是デ休憩ニ入りマス、午後ハ二時半カラ再開致シマス

午後二時三十七分閉會

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) ソレデハ午前ニ引續キ開會致シマス、御質疑ヲ願ヒマス

○子爵裏松友光君 大東亞大臣ヨリ共養圈内ニ於ケル食糧政策ノ御所見ヲ伺ヒマス

○國務大臣(青木一男君) 速記ヲ止メテ御相談致シタイト思ヒマスガ……

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 速記ヲ止メテ下サイ

午後二時三十八分速記中止

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 速記ヲ始メテ……

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 速記ヲ止メテ(速記中止)

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 速記ヲ始メテ……

○下條康麿君 國内増産ノ問題ニ付テ二、三農林大臣ニ御尋ネ致シタイト思ヒマス、先程御述ニナツタヤウニ、今後増産ノ爲ニ色々御施策ニナルト云フコトデアリマスガ、其ノ際ニ物的施策ノ外ニ、農民階級ノ精神力ト云フモノヲ、モウ少し考慮スル必要ガアルノデナイト云フ點デアリマスガ、第一ハ、内ノ方ノ問題ニ付テハ今回ハ御承知フ願シテ内ニ於ケル食糧政策ノ御所見ヲ伺ヒマス

○國務大臣(青木一男君) 速記ヲ止メテ御相談致シタイト思ヒマスガ……

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 速記ヲ止メテ下サイ

午後三時十六分速記開始

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 速記ヲ始メテ

○國務大臣(山崎達之輔君) 大體ノ考へ方ハ、大東亞大臣ノ先刻御説明ノ通りデアリマス、大東亞全域ノ食糧政策トシテハ、無論圈内ノ各民族ノ食糧ヲ確保シテ參ルト云フコトガ大眼目ニ相違アリマセヌガ、就中、日滿ヲ通ジマシテ、茲ニ鞏固ナ需給體制ヲ確立スルト云フコトガ根本ノ方針デアリマスコトハ、大東亞大臣ノ御述ニナツタ所デアリマス、ソコデ其ノ中デモ、申ス迄モナク國內ノ食糧ノ供給ト云フコトガ一番重要な問題デアルト思ヒマス、御承知ノヤウニ最近ノ數年間ハ、漸次持越米ト云フモノガ減少シツツアルノデアリマス、七、八年前ハ千萬石以上持越シテ居ツタノガ、今日ハ御承知ノヤウナ程度ノ持越米シカナイト云フヤウナコトデアリ、更ニ又或數量ハ御承知ノヤウニ矢張リ海外ニ求メテ居ルト云フヤウナ關係デアリマス、サウ云フヤウナ米ノ窮屈ナ需給ノ狀態ヲ一つ建直スト云フコトニ、ドウシテモ重點ヲ置イテ者ヘナケレバナラスト思ヒマス、併シナガラ無論内地ダケデ行クト云フコトハ是ハ困難デアリマシテ、當然朝鮮臺灣所謂外地、加フルニ滿洲國ノ供給力ノ增加ト云フコトハ、是ハドウシテ、モ計算ニハ入ッテ參ル譯デアリマス、ソコデ國内ノ方ノ問題ニ付テハ今回ハ御承知フ願シテ内ニ於ケル食糧政策ノ御所見ヲ伺ヒマス

○國務大臣(青木一男君) 速記ヲ止メテ御相談致シタイト思ヒマスガ……

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 速記ヲ止メテ下サイ

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 速記ヲ止メテ(速記中止)

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 速記ヲ始メテ……

○下條康麿君 國内増産ノ問題ニ付テ二、三農林大臣ニ御尋ネ致シタイト思ヒマス、先程御述ニナツタヤウニ、今後増産ノ爲ニ色々御施策ニナルト云フコトデアリマスガ、其ノ際ニ物的施策ノ外ニ、農民階級ノ精神力ト云フモノヲ、モウ少し考慮スル必要ガアルノデナイト云フ點デアリマスガ、第一ハ、内ノ方ノ問題ニ付テハ今回ハ御承知フ願シテ内ニ於ケル食糧政策ノ御所見ヲ伺ヒマス

○國務大臣(青木一男君) 速記ヲ止メテ御相談致シタイト思ヒマスガ……

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 速記ヲ止メテ下サイ

午後三時三十八分速記中止

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 速記ヲ始メテ

ナッテ 農村ノ運營ヲスルト云フコトガ一番  
望マシイコトデアラウト思ヒマス、從來カ  
ラ御承知ノヤウニ 地方ノ地主ト申シマシ  
テモ、地方デサウ大シタ地面ヲ持ッテ居ル  
譯デハナイノデアリマスガ、御話ノヤウニ  
稍、生活ノ安定ヲ得テ居ル部面ノ人デアリ  
マシテ、是等ノ人ハ、矢張リ農村ノ世話役ト  
云フヤウナ立場、或ハ農村ノ土地ノ改良ト  
カ云フコトノ爲ニハ、相當働不テ來テ居ツ  
タ譯デアリマシテ、ソレハ益サウ云フヤ  
ウナ働ヲ強メテ行クコトガ必要デアリマス、  
何ダカ地主ト云フト、少シ羽振リガ利カヌヤ  
ウナ氣持ヲ起スコトハ是ハ詰ラナイデヤナ  
イカ、大イニ之ヲ是正シテ行クコトガ必要  
デアラウ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、  
農林省デモ能ク話シテ居ルコトデアリマス  
ガ、例ヘバ今日農業技術員等モ非常ニ仕事  
ガ多イ、所謂統制ニ屬スル事務的ノ仕事が  
非常ニ多い、其ノ爲ニ農業ノ本當ノ技術ノ方  
ノ世話ガ十分行届カヌト云フヤウナコトハ、  
是ハ全國ニ多イ例ナノデアリマスガ、サウ  
云フヤウナコトコソ、御話ノヤウナ所謂地  
主ト云ヘレテ居ル側ノ人々ガ一ツ進ンデ、  
サウ云フ仕事ヲ引受ケルト云フヤウナ工合  
ニ、一ツ何カ仕組ヲ考ヘタラドウカト云フ  
コトヲ、農林省デモ實ハ相談フシツ、アル  
所デアリマス、御氣持ハ大體私ノ考ヘテ居  
リマスルコト同ジ方向ノ御氣持デヤナイ  
カト思フノデアリマスガ、尙十分一ツ工夫  
ヲ致ス考デアリマス

期ヲ早メルヤウニ農林大臣ハ御答辯ニナツ  
テ居ルヤウニ思フノデアリマス、ソレハ收  
穫後ニ御決定ニナルカ、其ノ前デアリマス  
カ、其ノ點ヲ伺ヒタイト思ヒマス  
○國務大臣(山崎達之輔君) 本年ノ供出米  
ノ割當ハ御承知ノヤウニ第一回ノ豫想收穫  
高ヲ基準ニシマシテ割當テタ譯ナノデアリ  
マシテ、地方ニ依リマスト非常ニ遅レマシテ、  
二月ノ末カラ三月頃、農家ノ方ニハ割當ガ  
届イテ居ルト云フヤウナ實例ガ多イノデア  
リマス、是ハ御承知ノヤウニ農家ノ米ノ扱  
ノ慣習カラ考ヘマシテモ、ドウモ二月末ト  
カ或ハ三月ニ割當ガ來ルコトハ、非常ニ供出  
ノ上ニハ工合ガ惡イノデ、ソコニ餘程私ハ  
無理ガアルヤウナ氣ガ致スノデアリマス、本年  
ノ割當ハ當初四千萬石ノ割當ト云フ考デ行ツテ  
居リマス、實ハドッタカト云フト、此ノ四千百萬  
石ノ供出ト云フコトハ、最初カラナカクノ因  
難ナ仕事ナノデアリマシテ、其ノ困難ナコトヲ  
ヤリ遂ゲルト云フ爲ニハ、多少ノ窮屈ニ行ツ  
タコトモ無理カラヌト思ヒマス、思ヒマス  
ケレドモ、餘リ窮屈ノ度ガ過ギマシテ、其ノ  
爲ニ農家ガ本當ニ心カラ樂シンデ耕作ニ打  
込ムト云フ氣分ニ影響ガアツテハ、是亦相成  
ラヌ譯ニアリマスカラ、其ノ邊ノ調整ヲド  
ウ付ケルカト云フコトハ、餘程私ハ考ヘナ  
ケレバナラヌト思ヒマス、就中割當ノ時期  
ヲ本年ノヤウニ第二回豫想收穫高ヲ俟テ  
決定スルト云フコトハ、ドウモ遲キニ失スル、  
是ハモウ少シ早目ニ割當ヲ決メマシテ、實  
收ノ狀況ニ依ツテハ割當テタモノニ或ル程  
度ノ修正ヲ加ヘテモ宜イノデヤナイカ、  
サウ云フヤウナ行キ方ハ少クトモ考ヘナケ  
レバナラヌノデヤナイカ、其ノ外餘リギゴ

○下條康麿君 誠ニ御尤モナ御考デアリマス、ソレカラ先程朝鮮總督府ノ政府委員カラノ御話ノ中ニ、朝鮮デハ本年カラ植付前ニ割當ヲ、所謂事前割當ト云フヤウナコトヲシタ、其ノ結果ハマダ實際具體的ニ影響ハシテ居リマセヌカラ分リマセヌガ、農民ノ方ニハ評判ガ好イヤウニ私共ハ聞イテ居リマス、御研究ニナッテ居ルコトトハ思ヒマスガ、若シ割當ヲスル場合ニハ相當早イ時期ニ割當テ、一旦割當テタラ其ノ割當額ヲ變ヘナシ、サウシテ農家ヲシテ安心シテ增産ニ專念セシメル方策ヲ御採リ願ヒタイト思ヒマス、今御話ニナッタヤウニ不作等ノ關係デ減收トナレバ、是ハ無論是正ノ必要ガアルト思ヒマスガ、成ルベク早イ時期ニ、出來レバ植付前ニ定メラレテ、サウシテソレハ一旦割當額ヲ決メタ以上ハ變ヘナイト云フ方向ニ御研究ヲ進メテ戴キタイト思フノデアリマス、尙今ノ供出米ニ關聯シテ地方ヲ歩イテ見マスト、取扱官憲ガ可ナリ農民ニ強クニ御處置ガアルノデハナイカト思ヒマスガ、斯ウ云フ場合ニ能クサウ云フコトノ承知カト思ヒマスガ、今後四千百萬石ノ、マダ百五十萬石位足ラナイト云フコトデ、再度又色々御處置ガアルノデハナイカト思ヒマス、ドウゾ宜シク御願ヒ致シマス

ノ御話ノ朝鮮ノコトハ此ノ間朝鮮ノ側カラ  
モ承<sup>ツ</sup>テ居リマスガ、ドウモ内地ハアノ式ニ  
行ケルカドウカハマダ私ハ判斷ヲ致シ兼ネ  
テ居リマス、何ト申シマシテモ内地産米ノ  
供出ト云フコトガマア國內ノ食糧供給ノ根  
源ニナル譯デアリマシテ、相當程度ハ矢張  
リ供出ニ期待スル譯ナンデアリマスカラ、  
朝鮮ト同様ナ風ニ仕組ニハマアドウカト疑<sup>ツ</sup>  
テ居リマスガ、尙出來ルダケ一ツノ實情ニ  
即スルヤウナ風ニ考慮ヲ致シタトイ思ヒマ  
ス、ソレカラ後段ニ御話ノアリマシタ供出  
ノ豫定量カラ若干ノ不足ガ出ル譯ニナッテ  
居リマスガ、其ノ爲ニ更ニ無理ヲスルト云  
フヤウナコトハ是ハ致サナイ考デゴザイ  
マス、其ノ點ハ地方ニモ間違ハ起ルマイ、  
斯様ニ考ヘテ居リマスカラ、其ノ點ハドウ  
ゾ御安心ヲ願ヒタイト思ヒマス

朝鮮ノ大旱魃以來、我々ハ來ル年モ來ル年モ其ノ豐凶ヲ案ジテ一喜一憂ヲ續ケテ參タノデアリマス、長期戰ノ段階ニ入ッタ大東亞戰爭ヲ徹底的ニ勝抜ク爲ニハ、食糧事情ノ恒久的安定コソハ最モ大事デアリ不可缺ノ要素デアルト思ヒマス、此ノ意味ニ於キマシテ、現實ニ立脚シタ長期食糧計畫ノ確立ガ最モ緊要デアルト存ジマス、素ヨリ政府ハ此ノ點ニ關シテハ十分考慮セラレテ居ルト思ヒマスシ、又先程大臣カラ其ノ御抱負ノ片鱗ヲ承リマシテ意ヲ強クシタ者デアリマスガ、確カ昨年主要農產物對策要綱ナルモノヲ發表セラレタヤウニ記憶致シテ居リマスガ、此ノ際是等ニ關シマシテ詳細ニ御所見ヲ承ルコトガ出來マスルナラバ仕合ニ存ジマス

○國務大臣(山崎達之輔君) 大體先刻來申上

ゲマスヤウナ考デ進ンデ居リマスガ、全體ノ恒久對策ニ付キマシテハ、マダ實ハ私トシテモハッキリシタ案ヲ具體的ニ用意ヲスル迄ニ至ヅテ居リマセヌノデアリマス、今回ハ此ノ米穀年度ヲ乘切ル、食糧局長官カラ申上げタコトデアリマスカ、或程度ノ狂ヒガ出マシタノデ、其ノ狂ヒヲ補填シテ、サウシテ兎モ角モ一ツ此ノ米穀年度ハ不安ナク乗切ルト云フ所ヲ見當ニシマシテ、今回ノ應急對策ヲ考ヘタ譯ナンデアリマスカラ、引續キマシテ成ルベク早ク國內ノ需給體制ガ確立サレマスヤウニ、諸般ノ施設ヲ考究致シタ伊トス様ニ考ヘテ居リマス、米ニリマシテハ考ガ決リ次第、豫備金ノ支出等ニ仰ギマシテ、實行ニ着手致シタイト思ヒマスガ、大體ノ狙ヒト致シマシテハ、米ニ付キマシテハ栽培管理ノ方法等ニ出來ルダ

リマスガ、殊ニ今後增産ノ餘地ノ最モ殘サレテ居リマスル部面ハ、ドナタモ御承知ノヤ

ウニ甘諾デアルト見テ居リマス、是ニハマダ増産ノ餘地ガアルト見テ居リマス、是ガ

爲ニハ一ツ全力ヲ傾注シテ參リタイト云フ考ヲ持シテ居リマスガ、尙麥其ノ他ニ付キ

マシテモ、或ハ二毛作田ヲ増加スルト云フヤウナ色々ノ施設ヲ講ジマスレバ、相當是

モ增收ノ餘地ガアラウカト見テ居ルノデア

リマスガ、マアソレ等ヲ通ジマシテ一番粗ッテ行クベキモノハ矢張リ土地改良デヤナイ

カト實ハ考ヘテ居ルノデアリマス、今回ハ取敢ズ荒蕪地ノ簡易ナ開墾ダケヲ加ヘテ置

キマシタケレドモ、續キマシテ事務當局ガ、只今準備ニ着手致シテ居リマスガ、是

ハ相當ノ土地改良ノ計畫ヲ立テ見タイト考ヘテ居リマス、其ノ他農業化セラレタル

畜產ノ問題モ餘程はハ力ヲ入レテ考ヘナケレバナラスト考ヘテ居ルノデアリマスカ、色々

ノ工夫ヲ致シマシテ、サウシテ一方朝鮮、臺灣又滿洲ノ協力ト云フヤウナコトヲ併セ

マシテ、少クトモ平年作デアレバ大體需給ノ均衡ハ取レルト云フ程度ノ體制ダケハ一

ツ早く確立ヲ致シタイ、斯ウ云フ考デ進ン

デ居リマス、只今御話ノ、昨年發表致シタ云フノハチヨット私マダ能ク承知致シテ

ツ早く確立ヲ致シタイ、斯ウ云

○關屋貞三郎君 此ノ先達テノ議會ノ時ニ、是ハ民間人デアリマスケレドモ、相當代表的ノ人ガ來マシテ、朝鮮カラ相當ナ人ガ來ラレマシテ、是ハ農林省カラ農林次官ガ、滿洲ナリ、朝鮮ナリ

トガアツタノデゴザイマス、勿論朝鮮總督府ノ當局ノ方モ、色々御援助ニナリ、又當時農林省カラ農林次官ガ、滿洲ナリ、朝鮮ナリ

ニ行ッテ、實際ヲ御覽ニナリマシテ、矢張り朝鮮デモ餘り困ラヌヤウニ、ドウセ不足

勝ノコトハ同ジデアリマスケレドモ、朝鮮ダケガ特ニ困ルト云フコトガナイヤウニシタイト云フコトニ御盡力ニナッタヤウナコ

トヲ記憶致シテ居リマスルガ、實ハ其ノ後ノ結果ナリ始末ナリヲ伺ッテ見マセヌケレドモ、丁度農林大臣モ御迭リニナリ、又内務大臣モ當時ノ内務大臣ト御迭リニナッタ

ノデアリマスガ、アノ始末ハ一通り付イタノデゴザイマスカ、ドウデスカ、ドナタカラデモ、朝鮮總督府ノ當局カラデモ宜シイ

ノデアリマスガ、アノ始末ハ一通り付イタノデゴザイマスカ、ドウシテモ米ノ問題ナリ何ナリハ、内地ガ主ニナルト云フヤウナ嫌ヒガ多少アルノデゴザイマスケレドモ、是ハ人口ノ關係其ノ他ノ關係デ已ムヲ得チイノデアリマスルガ、無論是ハ朝鮮ナリ臺灣ナリノ當局ノ方ガ、ソレドヽ御如才

ナイ御意見ヲ御出シニナッテ居ルト思ヒマスルガ、又一面ニ於キマシテハ、中央政府トシテ兎ニ角三分ノ一ノ人口ヲ持ッテ居リ

シマシテ、中央當局トモ御懇談ヲ遂ゲタノデアリマス、其ノ結果各方面共非常ナ困難ナ事情ニアツタノデアリマスルケレドモ、

大體話合ヒガ着キマシテ、朝鮮ト致シマシテハ御願ヲ致シマシタ全部ノ數量デハゴザイマセヌシタケレドモ、大體是デ乘切ツテ

行キ得ルト云フ量ニ付テ、御協力ヲ得ルヤウニ話ハ纏マリマシテ、爾來滿洲カラ、又内地ノ管理ニ屬シテ居リマスル所ノ中

カラ、朝鮮ノ方ニ輸移出ヲ致シテ貢ヲトニナツテ居リマシテ、其ノ成績ハ一時満

洲カラノ分ガ輸送力ノ關係等デ、多少豫定ヨリモ遲延スルヤウナ狀況ガゴザイマシテ、爲ニサナキダニ少イ殘存米ニ食ヒ込ン

トガアツタノデゴザイマス、勿論朝鮮總督府ノ當局ノ方モ、色々御援助ニナリ、又當時農

林省カラ農林次官ガ、滿洲ナリ、朝鮮ナリニ行ッテ、實際ヲ御覽ニナリマシテ、矢張

リ朝鮮デモ餘り困ラヌヤウニ、ドウセ不足

勝ノコトハ同ジデアリマスケレドモ、朝鮮ダケガ特ニ困ルト云フコトガナイヤウニシタイト云フコトニ御盡力ニナッタヤウナコ

トヲ記憶致シテ居リマスルガ、實ハ其ノ後ノ結果ナリ始末ナリヲ伺ッテ見マセヌケレドモ、丁度農林大臣モ御迭リニナリ、又内務大臣モ當時ノ内務大臣ト御迭リニナッタ

ノデアリマスガ、アノ始末ハ一通り付イタノデゴザイマスカ、ドウシテモ米ノ問題ナリ何ナリハ、内地ガ主ニナルト云フヤウナ嫌ヒガ多少アルノデゴザイマスケレドモ、是ハ人口ノ關係其ノ他ノ關係デ已ムヲ得チイノデアリマスルガ、無論是ハ朝鮮ナリ臺灣ナリノ當局ノ方ガ、ソレドヽ御如才

ナイ御意見ヲ御出シニナッテ居ルト思ヒマスルガ、又一面ニ於キマシテハ、中央政府トシテ兎ニ角三分ノ一ノ人口ヲ持ッテ居リ

シマシテ、中央當局トモ御懇談ヲ遂ゲタノデアリマス、其ノ結果各方面共非常ナ困難ナ事情ニアツタノデアリマスルケレドモ、

大體話合ヒガ着キマシテ、朝鮮ト致シマシテハ御願ヲ致シマシタ全部ノ數量デハゴザイマセヌシタケレドモ、大體是デ乘切ツテ

行キ得ルト云フ量ニ付テ、御協力ヲ得ルヤウニ話ハ纏マリマシテ、爾來滿洲カラ、又内地ノ管理ニ屬シテ居リマスル所ノ中

カラ、朝鮮ノ方ニ輸移出ヲ致シテ貢ヲトニナツテ居リマシテ、其ノ成績ハ一時満

ニ於テ練達堪能ノ農林大臣ニ對シテ、殊ニ臺灣、朝鮮ト云フヤウナ方面ノ此ノ食糧事

情ニ對シテモ内地同様常ニ考慮ヲ拂ッテ戴定ヨリモ遲延スルヤウナ狀況ガゴザイマシテ、爲ニサナキダニ少イ殘存米ニ食ヒ込ン

トガアツタノデゴザイマス、勿論朝鮮總督府ノ當局ノ方モ、色々御援助ニナリ、又當時農

林省カラ農林次官ガ、滿洲ナリ、朝鮮ナリニ行ッテ、實際ヲ御覽ニナリマシテ、矢張

リ朝鮮デモ餘り困ラヌヤウニ、ドウセ不足

勝ノコトハ同ジデアリマスケレドモ、朝鮮ダケガ特ニ困ルト云フコトガナイヤウニシタイト云フコトニ御盡力ニナッタヤウナコ

トヲ記憶致シテ居リマスルガ、實ハ其ノ後ノ結果ナリ始末ナリヲ伺ッテ見マセヌケレドモ、丁度農林大臣モ御迭リニナリ、又内務大臣モ當時ノ内務大臣ト御迭リニナッタ

ノデアリマスガ、アノ始末ハ一通り付イタノデゴザイマスカ、ドウシテモ米ノ問題ナリ何ナリハ、内地ガ主ニナルト云フヤウナ嫌ヒガ多少アルノデゴザイマスケレドモ、是ハ人口ノ關係其ノ他ノ關係デ已ムヲ得チイノデアリマスルガ、無論是ハ朝鮮ナリ臺灣ナリノ當局ノ方ガ、ソレドヽ御如才

ナイ御意見ヲ御出シニナッテ居ルト思ヒマスルガ、又一面ニ於キマシテハ、中央政府トシテ兎ニ角三分ノ一ノ人口ヲ持ッテ居リ

シマシテ、中央當局トモ御懇談ヲ遂ゲタノデアリマス、其ノ結果各方面共非常ナ困難ナ事情ニアツタノデアリマスルケレドモ、

大體話合ヒガ着キマシテ、朝鮮ト致シマシテハ御願ヲ致シマシタ全部ノ數量デハゴザイマセヌシタケレドモ、大體是デ乘切ツテ

行キ得ルト云フ量ニ付テ、御協力ヲ得ルヤウニ話ハ纏マリマシテ、爾來滿洲カラ、又内地ノ管理ニ屬シテ居リマスル所ノ中

カラ、朝鮮ノ方ニ輸移出ヲ致シテ貢ヲトニナツテ居リマシテ、其ノ成績ハ一時満

ラスト云フヤウナ缺點モゴザイマシテ、又各道ニ分屬致シテ居リマスルヤウナ關係力ラ、兎角各地ノ狀況ニマアナゾムト申シマ

テ、爲ニサナキダニ少イ殘存米ニ食ヒ込ン

トガアツタノデゴザイマス、勿論朝鮮總督府ノ當局ニ伺シテ順調ニ進ンデ居リマス、從ヒマシテ朝鮮ノ只今ノ見透シテ致シマシテハ、是デ春

窮期ハドウヤラ突破出來タノデハナイカ、此ノ先ハ端境ヲ乘切ル爲ニ、豫ネテノ御了解ヲ得テ居リマスル分ヲ、適時ニ御送リ願

ト云フコトサヘ行キマスレバ、大體ヤツテ行ク積デアリマス

○關屋貞三郎君 只今ノ御話ヲ伺ヒマシテ大變安心致シマシタガ、ドウシテモ米ノ問題ナリ何ナリハ、内地ガ主ニナルト云フヤウナ嫌ヒガ多少アルノデゴザイマスケレドモ、是ハ人口ノ關係其ノ他ノ關係デ已ムヲ得チイノデアリマスルガ、無論是ハ朝鮮ナリ臺灣ナリノ當局ノ方ガ、ソレドヽ御如才

ナイ御意見ヲ御出シニナッテ居ルト思ヒマスルガ、又一面ニ於キマシテハ、中央政府トシテ兎ニ角三分ノ一ノ人口ヲ持ッテ居リ

シマシテ、中央當局トモ御懇談ヲ遂ゲタノデアリマス、其ノ結果各方面共非常ナ困難ナ事情ニアツタノデアリマスルケレドモ、

大體話合ヒガ着キマシテ、朝鮮ト致シマシテハ御願ヲ致シマシタ全部ノ數量デハゴザイマセヌシタケレドモ、大體是デ乘切ツテ

行キ得ルト云フ量ニ付テ、御協力ヲ得ルヤウニ話ハ纏マリマシテ、爾來滿洲カラ、又内地ノ管理ニ屬シテ居リマスル所ノ中

カラ、朝鮮ノ方ニ輸移出ヲ致シテ貢ヲトニナツテ居リマシテ、其ノ成績ハ一時満

ヲシテ出來ルダケノコトハヤッテ參ツクノ  
デアリマス、併シ尙又中小工業者ノマア整  
備ト申シマスカ、ソレニ對スル方針ニ付キ  
マシテモ朝鮮ト致シマシテハ只今迄殆ド米以  
外、總アチヨットシタ日用品ノヤウナモノ  
デモ多ク内地ノ方カラ入レテ貰フト云フヤ  
ウナ狀況ニ相成ツテ居リマスルノデ、ドウ  
シテモ是デハイケマセヌノデアリマシテ、  
米其ノ他ノ重要ナモノニ付キマシテハ出來  
ル限リ内地ニ協力シテ、内地ヲ助ケルト云  
フコトヲヤラナケレバナラスト同時ニ、成  
ルベク内地ノ方ニ迷惑ヲカケルコトヲ一ツ  
シナイヤウニシテ行カナケレバナラスト云  
フヤウナ考デ、中小工業者ニ對シテモ出來  
ルコトナラバサウ云フ朝鮮領域内ノ自給自  
足ニ役立タシムル爲ニ維持育成ノ方針ヲ  
執ツテ參ツクノデアリマス、從ヒマシテ今  
日迄產金事業ヲ除キマシテハ、此ノ事業ヲ  
根本的ニ或ハ又非常ニ大量的ニ、他ニ換ヘ  
テシマウト云フヤウナ大キナ整備ハ致シテ  
居リマセヌノデアリマス、併シ段々ト統制  
モ強化ヲ致サレテ參リマスルシ、色々ナ客  
觀情勢カラ致シマシテ矢張リ此ノ維持育成  
ニ多少ノ修正ヲ加ヘマシテ、矢張リ各種ノ  
業態ニ瓦リマシテ救ツテヤラナケレバナラ  
ヌモノガ出テ参リマス、サウ云フモノヲ休  
トモ致シタイノデアリマスル、又金屬類ノ  
回収ト云フヤウナコトモ從來極メテ微々タ  
ルモノヲシテヤラシテ居リマシタケレドモ、  
是亦諸般ノ企業整備等ニ絡リマシテ、相當  
之ヲ合理的ニ按配ヲシテ行カナケレバナラ  
ヌト云フヤウナ必要ニ迫ツテ参リマシタノ  
デ、ソレ等ノコトモ合セマシテ此ノ營團ヲ  
シテ當ラセタイ、斯様ナ考へカラ作リマシ

○子爵八條隆正君 サウシマスト、此ノ產  
業物資營團ト云フノハ、内地ノ產業設備營  
團ト、更生金庫ノヤウナ仕事ヲヤル譯デア  
リマスカ  
○政府委員(田中武雄君) 大體サウ云フ考  
デアリマス  
○子爵八條隆正君 食糧營團ノ出資ニハ、  
政府出資ト、民間出資トアリマスガ、此ノ  
民間出資ト云フノハ、各道ノ糧穀株式會社  
及朝鮮米穀市場株式會社、ソレ等ガ配置サ  
レテ、其ノ方ノ側カラノ出資デアル、斯ウ  
云フ風ニ見テ宜イ譯デアリマスカ  
○政府委員(水田直昌君) 數字ノコトデア  
リマスノデ私ヨリ……御示シノヤウニ民間  
出資ハ、現在中央ノ會社ト各道、十三道ノ  
會社ト、兩方ノ會社ノ現在拂込出資額ガ、  
約千六百萬圓ニ相成ツテ居ルノデアリマス、  
ソレヲ若干擴張致シマシテ、二千萬圓ト云  
フコトニ計畫致シタ次第デアリマス  
○下條康麿君 條文ニ付テ御尋ネシテ宣シ  
ウゴザイマスカ

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 宜シウゴザイ  
マス  
○下條康麿君 第四條ノ「政府ノ指定スル  
銀行」ト云フノハ、ドウ云フ銀行ヲ豫定シ  
テ居ラレマスカ  
○政府委員(水田直昌君) 只今ノ所朝鮮内  
ニ於キマシテ、從來米穀資金ニ付テ主トシ  
テ、貸出ヲ扱ツテ居ツタ銀行ヲ考慮致シテ居  
リマス、例ヘテ申シマスト、朝鮮殖產銀行  
ト云フヤウナノヲ今考ヘテ居リマス  
○下條康麿君 内地ノ銀行ハ考ヘテ居リマ  
スカ

○下條康麿君 其ノ場合ニ、内地ノ食糧證券  
ハ、ドウセ日本銀行ヲ割引クノデスカラ、  
證券デヤッテモ宜イ譯グト恩ヒマスガ、ソレ  
デハイケナインデセウカ、此ノ規定デハイ  
ケナイコトニナッテ居リマスガ……  
○政府委員(竹内德治君) 其ノ點ハ矢張リ  
内地ノ食糧管理會計ヨリ出シマス食糧證券、  
朝鮮ハ朝鮮管理會計ノ出シマス食糧證券、  
九億七千八百萬圓ト云フコトニナルノデス  
八百萬圓……  
○下條康麿君 證券ノ發行限度ガ九億七千  
○政府委員(水田直昌君) 借入金額ノ最高  
食糧證券發行ガ十億圓ト云フコトニナルノ  
デス  
○下條康麿君 借入金ノ額ハドウナルノデ  
スカ

○下條康麿君 借入金ノ額モ包含サレル譯  
デスネ

○政府委員(水田直昌君) サウデアリマス  
○下條康麿君 サウスルト十億圓ノ額ガ、  
買入ノ米穀等ノ數字カラ、内地ノ場合ニ比  
ベテ、少シ多イノデヤナイカト思ヒマスガ、  
割合ガ七億圓位デ宜イノデヤナイカト思ヒ  
マスガ、大體ノ計算デ日本ノ内地ノ三分ノ  
一位デ宜イノデヤナインデスカ

○政府委員(水田直昌君) 内地ノ方ガドウ  
云フ關係デアルカ、チヨット詳カニ致シマ  
セヌガ、此ノ算出ノ根據ハ、朝鮮ノ平年作  
ニ於ケル收穫量ト云フモヲ一應見マシテ、  
ソレハ二千二百八十七萬餘石デアリマス、  
其ノ數字ヲ見マシテ、其ノ中カラ生産ニ從  
事スル農家ノ保有米八百餘萬石ヲ控除致シ  
マシテ、残リノ千四百三十餘萬石ヲ一應買  
入レルト云フコトニ豫定致シテ居ルノデア  
リマス、ソレガ此ノ十三頁ニ示シテ居リマ  
ス、此ノ數量ヲ買上ガル場合ニ於ケル月末  
證券ノ最高ノ現在ガ、四億四千七百萬圓ト  
云フコトニテアリマス、併シ一面増米  
計畫、今此ノ計算デ出シテ居リマスノハ所謂  
過去五箇年ノ平均數字ニ依ツテ穫レルノガ  
二千三百萬石弱之ヲ標準ニシテ此ノ數字  
ヲ出シテ居リマス、一面増米計畫ニ依リマ  
スノデ、若シ其ノ計畫通り出來タ場合ニ  
於テハ、今申シマシタ二千三百萬石弱ト云  
フモノト、其處ニ五百萬石程度ノ差ガ出テ  
參リマスノデ、ソレヲ矢張リ買上ゲナケレ  
バナラナイ、尙場合ニ依リマシテハ、米ヲ政府ノ  
ルダケ早ク朝鮮ニ於キマシテハ、米ヲ政府ノ  
手ニ納メル、農民ノ手ニ置イテ置キマスル

ト、何ト言ッテモ食べテシマウト云フ虞ガ  
アリマスルノデ、出來ルダケ早ク政府ノ手  
ニ買入レタイ、併シナガラ倉庫ノ狀況、其  
ノ他各般ノ狀況デ、矢張リ大抵四月、五月迄  
シマシテハ一月、三月頃迄ニ全部一年分ヲ收  
納シテシマフ、是ガ理想ナンデアリマス、  
サウ云フヤウナ場合ヲ考慮致シマシテ、其  
ノ數字ヲ一億四千八百萬圓ト早期買上二億  
二千萬圓ト云フモノヲ考慮致シテ、ソレヲ  
加算致シマシタノガ八億一千五百萬、斯ウ  
云フコトニナシテ居リマス、ソレニ對シテ、  
尙或程度ノ其處ニ裕リヲ見ル譯デアリマス  
○下條康麿君 臺灣ノ政府委員ニチヨット  
伺ヒタインデスガ、臺灣ノ食糧管理ニ付テ  
今ハ總督府ニ米穀局ガアリマシテ、ソコデ  
管理シテ居ルヤウデアリマス、朝鮮ノ今回  
營園ガ出來マスニ做ッテ、朝鮮ト同ジヤウニ  
營園組織ノ團體ニ依ツテ運營セシメル方ガ  
宜イノデハナイカト云フ感ジモアルノデア  
リマスガ、ドンナ風ニ考ヘテ居ラレルノデ  
スカ

者協議中デゴザイマス

○柴田兵一郎君 臺灣ノ增產對策トシマン  
テ砂糖黍ノ作付反別ヲ制限シテ米作ニ振向

アリマス、又色々中央當局ヲ中心ト致シマ  
シテ、非常ニ一時少イ現象ヲ呈シタノデ  
ノ他各般ノ狀況デ、矢張リ大抵四月、五月迄  
ノ他各般ノ狀況デ、矢張リ大抵四月、五月迄  
ケタナラバ相當ノ良田ヲ得テ增收ヲ計ラレ  
ルト思ヒマスガ、總督府ハ今日斯ウシタ作  
付統制ヲヤツテ居ラレマセウカ、伺ヒタイト  
思ヒマス

ト云フコトデハナイノデアリマスガ、何セ

アリマス、又色々中央當局ヲ中心ト致シマ  
シテ、中央、朝鮮、滿洲ト云フヤウナモノ

デ取決メヲ致シマシテモ、ドコガ別ニ怠慢

ト云フコトデハナイノデアリマスガ、何セ  
アリマス、又色々中央當局ヲ中心ト致シマ  
シテ、中央、朝鮮、滿洲ト云フヤウナモノ

デ取決メヲ致シマシテモ、ドコガ別ニ怠慢

ト云フコトデハナイノデアリマスガ、何セ  
アリマス、又色々中央當局ヲ中心ト致シマ  
シテ、中央、朝鮮、滿洲ト云フヤウナモノ

デ取決メヲ致シマシテモ、ドコガ別ニ怠慢

ト云フコトデハナイノデアリマスガ、何セ  
アリマス、又色々中央當局ヲ中心ト致シマ  
シテ、中央、朝鮮、滿洲ト云フヤウナモノ

デ取決メヲ致シマシテモ、ドコガ別ニ怠慢

ト云フコトデハナイノデアリマスガ、何セ  
アリマス、又色々中央當局ヲ中心ト致シマ  
シテ、中央、朝鮮、滿洲ト云フヤウナモノ

デ取決メヲ致シマシテモ、ドコガ別ニ怠慢

ト云フコトデハナイノデアリマスガ、何セ  
アリマス、又色々中央當局ヲ中心ト致シマ  
シテ、中央、朝鮮、滿洲ト云フヤウナモノ

デ取決メヲ致シマシテモ、ドコガ別ニ怠慢

ト云フコトデハナイノデアリマスガ、何セ  
アリマス、又色々中央當局ヲ中心ト致シマ  
シテ、中央、朝鮮、滿洲ト云フヤウナモノ

デ取決メヲ致シマシテモ、ドコガ別ニ怠慢

ト云フコトデハナイノデアリマスガ、何セ  
アリマス、又色々中央當局ヲ中心ト致シマ  
シテ、中央、朝鮮、滿洲ト云フヤウナモノ

デ取決メヲ致シマシテモ、ドコガ別ニ怠慢

ト云フコトデハナイノデアリマスガ、何セ  
アリマス、又色々中央當局ヲ中心ト致シマ  
シテ、中央、朝鮮、滿洲ト云フヤウナモノ

デ取決メヲ致シマシテモ、ドコガ別ニ怠慢

ト云フコトデハナイノデアリマスガ、何セ  
アリマス、又色々中央當局ヲ中心ト致シマ  
シテ、中央、朝鮮、滿洲ト云フヤウナモノ

デ取決メヲ致シマシテモ、ドコガ別ニ怠慢

ト云フコトデハナイノデアリマスガ、何セ  
アリマス、又色々中央當局ヲ中心ト致シマ  
シテ、中央、朝鮮、滿洲ト云フヤウナモノ

デ取決メヲ致シマシテモ、ドコガ別ニ怠慢

ト云フコトデハナイノデアリマスガ、何セ  
アリマス、又色々中央當局ヲ中心ト致シマ  
シテ、中央、朝鮮、滿洲ト云フヤウナモノ

デ取決メヲ致シマシテモ、ドコガ別ニ怠慢

ト云フコトデハナイノデアリマスガ、何セ  
アリマス、又色々中央當局ヲ中心ト致シマ  
シテ、中央、朝鮮、滿洲ト云フヤウナモノ

デ取決メヲ致シマシテモ、ドコガ別ニ怠慢

ト云フコトデハナイノデアリマスガ、何セ  
アリマス、又色々中央當局ヲ中心ト致シマ  
シテ、中央、朝鮮、滿洲ト云フヤウナモノ

デ取決メヲ致シマシテモ、ドコガ別ニ怠慢

ト云フコトデハナイノデアリマスガ、何セ  
アリマス、又色々中央當局ヲ中心ト致シマ  
シテ、中央、朝鮮、滿洲ト云フヤウナモノ

デ取決メヲ致シマシテモ、ドコガ別ニ怠慢

ト云フコトデハナイノデアリマスガ、何セ  
アリマス、又色々中央當局ヲ中心ト致シマ  
シテ、中央、朝鮮、滿洲ト云フヤウナモノ

デ取決メヲ致シマシテモ、ドコガ別ニ怠慢

ト云フコトデハナイノデアリマスガ、何セ  
アリマス、又色々中央當局ヲ中心ト致シマ  
シテ、中央、朝鮮、滿洲ト云フヤウナモノ

デ取決メヲ致シマシテモ、ドコガ別ニ怠慢

ト云フコトデハナイノデアリマスガ、何セ  
アリマス、又色々中央當局ヲ中心ト致シマ  
シテ、中央、朝鮮、滿洲ト云フヤウナモノ

デ取決メヲ致シマシテモ、ドコガ別ニ怠慢

ト云フコトデハナイノデアリマスガ、何セ  
アリマス、又色々中央當局ヲ中心ト致シマ  
シテ、中央、朝鮮、滿洲ト云フヤウナモノ

デ取決メヲ致シマシテモ、ドコガ別ニ怠慢

ト云フコトデハナイノデアリマスガ、何セ  
アリマス、又色々中央當局ヲ中心ト致シマ  
シテ、中央、朝鮮、滿洲ト云フヤウナモノ

デ取決メヲ致シマシテモ、ドコガ別ニ怠慢

ト云フコトデハナイノデアリマスガ、何セ  
アリマス、又色々中央當局ヲ中心ト致シマ  
シテ、中央、朝鮮、滿洲ト云フヤウナモノ

デ取決メヲ致シマシテモ、ドコガ別ニ怠慢

ト云フコトデハナイノデアリマスガ、何セ  
アリマス、又色々中央當局ヲ中心ト致シマ  
シテ、中央、朝鮮、滿洲ト云フヤウナモノ

アリマスルノデ、出來ルダケ早ク政府ノ手

ニ買入レタイ、併シナガラ倉庫ノ狀況、其

ノ他各般ノ狀況デ、矢張リ大抵四月、五月迄

シマシテハ一月、三月頃迄ニ全部一年分ヲ收

納シテシマフ、是ガ理想ナンデアリマス、

サウ云フヤウナ場合ヲ考慮致シマシテ、其

ノ數字ヲ一億四千八百萬圓ト早期買上二億

二千萬圓ト云フモノヲ考慮致シテ、ソレヲ

對シテ、云フコトニナシテ居リマス、ソレヲ

云フコトニナシテ居リマス、ソレヲ

云フコトニナシテ居リマス、ソレ

時ニ於キマシテモ相當ナ貯蓄ヲ致シタノデアリマスガ、今回ノ補給金竝ニ買上値段ノ増加ト云フモノニ對シマシテ、若シ農民ニ對シテ生産ノ意欲ヲ阻害スルト云フコトノナイ場合ニ於キマシテハ、全部貯金通帳デヤッテ呉レト云フコトヲ申ス譯デアリマスガ、少クトモ其ノ八割程度ハ之ヲ貯蓄ニ振向ケル、而モ其ノ貯蓄ハ三ヶ月、六ヶ月デ引出スモノデナイ、或程度ノ期間ハ貯蓄ラシテ置クト云フコトニミテ是ハ實ハ米ノ生産供出ト云フ點カラ行キマスルト、農民ハ現金ヲ成ルベク餘計ニ取りタイ、是ガ眞意デアリマス、一面「インフレ」防止ノ點カラ行キマスルト考慮シナケレバナラヌ、朝鮮ノ實情下致シマシテ大體八割程度ノモノハ貯蓄ニ振向ケシメル、斯ウ云フ風ナ方策ヲ取ツテ實行シタイト思ッテ居リマス

○政府委員(水田直昌君) 只今ノ御意見誠ニ御尤モデアリマスルガ、朝鮮ト致シマシテ矢張リ此ノ補給金ニ依ツテ農民ノ得ル金ノ中カラ實ハ二圓程度ノモノハ、今御話ノ再生産、食糧、殊ニ米ノ増產ノ擴充ノ施設ト云フコトニ振向ケルト云フ措置ヲ致ストニ計畫致シテ居リマス、其ノヤウナモノニ付テノ貯蓄ノ問題ヲ申上、ダタ譯デアリマス

○政府委員(中嶋一郎君) 臺灣ニ付キマシテモ大體同様デゴザイマスガ、例ヘバ肥料……一旦信用組合ニ預ケ入レマシタモノハ、成ルベク特別ノ事情ガナケレバ出サセナイト云フコトニハ致シテ居リマスガ、例ヘバ肥料ノ配給ガゴザイマシタリ、或ハ農機具ノ飼當ガゴザイマシタトカ云フヤウナ時ニハ、其ノ狀況ニ應ジテ其ノ貯金ヲ出サセルト云フコトハ、是ハ勿論ヤッテ居リマスノデアリマス

○政府委員(齊藤樹者) 先刻ノ水田甘蔗作ノ撤退ニ關スル御質問ニ對シマシテ、五千甲歩ノ甘蔗ヲ畑地ヘ撤退サセルト云フヤウニ申上ゲタヤウデアリマス、畑地ヘ撤退サセマスノハ實ハ昨年ヤリマシタノデアリマス、五千甲歩ノ甘蔗ヲ水田カラ畑地ヘ昭和考ニナルト、末端デハ相當強クソレガ行キマシテ、隨分貯蓄ヲスルト云フヤウナコトデアルケレドモ、矢張リ中央ガサウ云フ風ニ御思フ、サウスルト今ノ再生産ノ増強ト云フコトニモ多少又ソヨノ所ハドシナモノカト思ヒマス、其ノ兼合ヒガ餘程ムヅカシクハナカラウカト思ヒマス、併シ大體今ノ御説明デ分リマシタ

十七年ニ出シマシタ、今年即チ十八年ニヤリマスノハ畠地ヘノ撤退デハゴザイマセヌノデ、マア見様ニ依リマシテハ撤退減ニナル譯デアリマス、尙御尋ハ甘蔗ダケノ御尋デゴザイマシタガ、序デアリマスノデ一言申添ヘテ置キマスケレドモ、今回ノ追加豫算ノ中ニ現ハレテ居リマス作付轉換數ハ、平地ニ於ケル「バナナ」竝ニ「バイン」ノ栽培地ヲ相當各々數千町歩ヅ主要食糧作物ノ方ニ轉換サセル爲ノ經費ヲ計上シテ居リマスノデアリマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 其ノ外ニ何方御質問ハゴザイマセヌデゴザイマセウカ

○内田重成君 私ハ農林省ノ政府委員、ドナタデモ宜シウゴザイマスガ、極ク細カイ問題デアリマスガ、食糧増産ノ中デ臨時ニ特別御獎勵ニナル雜穀類ノ中ニ、蕎麥ノコトガ出て居リマスガ、蕎麥ハ申ス迄モナク非常ニ有望ナ、又有效ナ食糧ノ一つデアルノデアリマスガ、ソレト最早玉蜀黍ヘ少シ時期ヲ失ツタヤウデアリマスガ、此ノ蕎麥ノ増産獎勵ニ付テハドウ云フ風ニナッテ居リマスカ、ソレヲ一ツ

○國務大臣(山崎達之輔君) 蕎麥ノ方ハ大體一萬五千石種ヲ得タイト思ヒマシテ、隨分早ク實ハ手配ヲ致シマシタノデスガ、只今一萬二千石バカリハ纏マツテ居リマス、アト三千石バカリ豫定ニ不足シテ居リマスケレドモ、相當各方面ニ協力シテ貰ツテ居リマスシ、此ノ方ハマダ期間モアリマスカラ、何トカマア一萬五千石程度ノ種ハ得ラレルノル積デアリマス、蕎麥ハ實ハウント殖ヤシテ見ダイト思テ居リマス、大體サウ云フヤウ

○内田重成君 ソレニ關聯シテ申上ダマス、  
是ハ私ハ屢々申シテ居ルヤウデアリマスガ、  
面デハ喬麥ノ被害ノ主ナルモノハ主ナ場合  
野猪デアリマスガ、野猪ノ驅除ニ付テ、モ  
ウ少シ徹底シタツ驅除方法ヲ御考ヘ願ヒ  
タイト思フノデアリマス、是ハ獨リ喬麥ニ  
限ラス、廿諸ノ如キ、ソレカラ山間部デ獲  
レル米ノ如キモ、殆ド此ノ被害ガ重大デア  
リマシテ、之ニ依ッテ唯收穫上ノ減損ニ止マ  
ラズ、農民ノ山間部耕地ノ耕作ヲ放棄スル  
ト云フ状況ガ非常ニ多イ、是ハ私共實際ソ  
レヲ見タリ、又ハ聞イタリシテ居リマスガ、  
是ハ寒心ニ堪ヘナイモノガアルト思フノデ  
アリマス、是ハ關東方面ニハ餘リ其ノ話ヲ  
聞キマセヌガ、山陰、山陽方面ハ殊ニヒドイ  
ヤウデアリマス、此ノ驅除方法ニ付テ、狩  
獵法ノ改正トカ、其ノ他ノ御施設ニナツテ居  
ルコトハ無ツテ居リマスガ、是ハモウ一層一  
ツ徹底的ナ、何トカ驅除方法ヲ御考ヘ願ヒ  
タイト考ヘマス

ニナルノデヤナイカト思フノデアリマス、鬼ニ角野猪ノ被害ヲ出來ルダケ少ク致シマス爲ニ、罷ノ設備等ニ付キマシテ、増産上ス必要ナル助成モ若干現ニ計上シテ居ルノデアリマス、尙其ノ實情ニ應ジマシテ今後一層此ノコトニ努メテ參リタイト考ヘテ居リマス。

○内田重成君 宜シウゴザイマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 何カ他ニ御質問、ゴザイマセヌカ……御質問ガナケレバ質問終了ト認メテ差支ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ下呼フ者アリ〕

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) ソレデハ質問ハ終了致シマシタ、討論ニ移リマス、何カ御意見ゴザイマスレバ此ノ際御發言願ヒマス

○子爵八條隆正君 本委員會ニ付託ニナリ

マシタ三法案ニ付テ見マスト、先づ朝鮮食糧管理特別會計法案、是ハ今日ノ朝鮮ノ食糧事情ノ上カラ見マシテ必要ナル方策デアルト存ジマス、食糧管理ヲ致ス以上、是亦特別會計トシテ取扱フト云フコトハ最モ妥當趨勢、又農產物ダケニ付テ見マシテモ、此ノ米價ハ他ノ農產物ノ價格ニ權衡ガ取レテ居ナコトト存ジマス、ソレカラ他ノ二法案、米價ノ引上ト云フコトハ、今日ノ諸物價ノ騰貴ノ所デアリ、又消費者側カラ見テモ是ハ已ムヲ得ナイコトデアルト云フコトハ、何人モ認メル所デアツタノデアリマシテ、政府ガ先フコトハ、一般ノ極メテ妥當ナ處置デアルト認メテ居ル所デアリマス、之ニ依ッテ今ノ米穀ノ増産ヲ一層促進スル上ニ於テ極

メテ適切ナルコトデアルト思フノデアリマス、内地ニ於テ既ニ米價ノ引上ヲ見マシタル以上ハ、朝鮮米竝ニ臺灣米ニ於キマシテモ内地ノ政策ニ即應シテ其ノ引上ヲ實行スベキコトハ是亦當然ノコトデアルノデアリマス、而シテ此ノ米價引上ニ伴フテ補給金ノ支給ト云フコトノ爲ニ、茲ニ朝鮮竝ニ臺灣ニ於テ公債ノ發行ニ關スル法律案ヲ提案サレタノデアリマシテ、是ハ自然ノ歸結デアルト思フノデアリマス、又朝鮮ニ於ケル此ノ公債發行ニ關スル法律案中ニ、食糧營團竝ニ產業物資營團ニ對スル出資ノ爲ニ公債發行額限度ノ擴張ガアリマスガ、是亦是等ノ兩營團ヲ朝鮮ニ於テ設置スルト云フコトハ、現下ノ事情ニ鑑ミテ適當ナルコトデアルト思フノデアリマス、右ノ事情ニ依リマシテ私ハ此ノ委員會ニ付託ニナリマシタ三案ニ對シマシテ、贊成ノ意ヲ表スル者デアリマス、唯茲ニ補給金ノ支出ト云フコトニ付キマシテハ、先刻裏松子爵ヨリ御注意的ノ質問ガアリマシテ、ソレニ對シテ當局ヨリ御答辯ガアツタノデアリマシテ、朝鮮ニ於テモ一億圓内外、又臺灣ニ於テモ數千萬圓ノ補給金ノ支出ヲ見ルコトデアリマステ、相當民間ニ通貨ノ放出ヲ見ルコトデアリマス、此ノ「インフレ」ノ防止ニ付テハ、只今當局ヨリモ十分御注意ニナツテ居ルト

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 全會一致ト認メマス、本案ハ三案共可決致サレマシタ、委員會ハ是デ終了致シマス、誠ニ御苦勞デアリマシタ  
〔總員舉手〕  
出席者左ノ如シ  
午後四時四十六分散會

委員

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 副委員長 伯爵兒玉秀雄君 副委員長 男爵稻田昌植君

候爵池田宣政君

候爵一條實孝君

子爵八條隆正君

子爵西尾忠方君

子爵裏松友光君

下條康麿君

大野綠一郎君

内田重成君

田口彌一君

男爵三須精一君

男爵坊城俊賢君

結城安次君

米原章三君

山上岩一君

柴田兵一郎君

國務大臣

政府委員

朝鮮總督府財務局長 水田直昌君  
臺灣總督府總務長官 食糧管理局長官  
大藏次官 谷口齊藤樹君  
大東亞省總務局長 湯河恒二君  
臺灣總督府財務局長 中嶋元城君  
食糧管理局長官 竹内新平君  
副委員長 男爵稻田昌植君  
候爵池田宣政君  
候爵一條實孝君  
子爵八條隆正君  
子爵西尾忠方君  
子爵裏松友光君  
下條康麿君  
大野綠一郎君  
内田重成君  
田口彌一君  
男爵三須精一君  
男爵坊城俊賢君  
結城安次君  
米原章三君  
山上岩一君  
柴田兵一郎君  
國務大臣  
政府委員  
内務省管理局長 大東亞大臣 青木一男君  
農林大臣 青木一男君  
山崎達之輔君  
田中武雄君  
朝鮮總省府政務總監 田中武雄君  
内閣印刷局 印刷者